

平成26年3月20日

各位

大阪信用金庫
理事長 樋野 征治

【特別調査】

・Windows XPサポート期間終了にともなう影響について

- ☆「Windows XP」未だ46.0%あり
- ☆XPをこのまま使う53.5% 急がれる対策の実施

●「Windows XP」未だ46.0%あり

「Windows XP」を使う企業は、全体の46.0%（537社）に上りました。またこの内、自社内のパソコンの中で「Windows XP」を使う割合は52.5%となりました。Windows XPサポート期間終了が4月9日に迫っていますが、まだ多くの企業でXPは使われています。

●XPをこのまま使う53.5% 急がれる対策の実施

XPを使う企業では、今後も、53.5%がこのままXPを使うと回答しています。その理由は、「XPで不自由しない」が64.4%、「XP対応ソフトを使っている」19.3%、「買い替える資金がない」が13.3%となり、XPだけでも業務に支障がでないと考える企業が多いと思われます。XPのパソコンを引き続き使うことには、今後大きなリスクがともないます。コンピュータウイルスへの感染や破壊からデータを守るためにも、早急な対策の実施が求められます。

・南海トラフ地震対策について

- ☆業務継続体制（BCP）の整備状況 8.3%に止まる
- ☆急がれる地域を越えた防災ノウハウとスキル

●業務継続体制（BCP）の整備状況 8.3%に止まる

自社が立地する地域の被害想定は55.9%が認識していますが、業務継続体制を整備しているのは8.3%に止まりました。体制整備をしていない91.7%の内、防災計画などを今後作成予定の企業は、わずか13.4%となっています。

●急がれる地域を越えた防災ノウハウとスキル

防災計画を作成しない理由は、「計画作成のスキルやノウハウの不足」が47.7%と最も多くなりましたが、「大きな被害想定を考えていない」が40.8%あり、楽観的に考える企業も比較的多くあります。

調査時点：平成26年3月上旬
対象企業：当金庫お取引先1,812社（大阪府内、尼崎市）
回答企業：1,277社（回答率70.5%）
調査方法：調査票郵送および聞き取り調査

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社だいしん総合研究所（担当：平山）
TEL：(072)238-8021 FAX：(072)238-8002
E-mail：souken@osaka-shinkin.co.jp
URL http://www.osaka-shinkin.co.jp